



事業継続計画

八月号のひだまり原稿のあいさつ文は私の順番になっていきます。ここ二年間新型コロナウイルスに関連した内容で書かせていただきましたが、今年も同様になります。

新型コロナウイルス感染症の流行に対し、社会福祉施設としてその使命を果たし、事業を継続する事を目的として「聖愛園新型コロナウイルス発生時対応事業継続計画」を策定しました。事業継続のため優先業務を明確化し、事業の継続を行うように計画をしておりますが、果たして本番で計画どおり運営ができるか心配がありましたので五月から、月二回事業継続訓練日をもうけ、昼間の各時間帯利用者四〇名を男子生活支援員一名、女子生活支援員二名で食事介助、トイレ介助、とあとは見守りを中心とした訓練を実施しています。昼食休憩は交代でとりますので、この時間帯は男子一名、女子一名となります。

生活支援員以外の職員は、本番では手伝うことになりませんが、訓練を手伝うと訓練にならないので、いつでも手伝える状態での訓練を見守っています。今後回数を重ね、改善点はないか検討をしていくことになりましたが、今のところ無難にこなしているように思います。

職員数が少ないので食事介助にも時間がかかりますが、その反面マニュアルやプログラムに追われることなく時間がゆとりと流れていきますので、利用者さんによつてはかえって落ち着いているように思います。日頃マンツーマンでつかないかなければならない利用者さんもなぜか訓練日はおとなしくしてくれているような気がします。今までは、職員数が多いほど、日課が予定どおりに進み利用者さんにとってプラスと思っていました。が、マニュアルに追われないことにより落ち着いた時間を過ごせるのかもかもしれません。今後の訓練で統計をとりながら、支援に要する職員数、マニュアル等訓練

発行所
聖和福祉会
聖愛園

〒519-2211
三重県多気郡
多気町丹生4701
TEL 0598-49-3115
FAX 0598-49-3783

サニープレイス

〒515-0052
三重県松阪市
山室町2580
TEL 0598-30-5585
FAX 0598-30-5586

を通じて新たな発見につながるかもしれません。

この訓練は、大規模地震災害にも生かされると思います。

新型コロナウイルスの対応には大変困っておりますが、それにより、支援内容を検討していくことができれば悪いことばかりではないのかもしれない。

どうぞ、今年の夏も、新型コロナウイルスと熱中症に充分御自愛されますことをお祈り致します。

聖愛園 施設長

戸野 和雄

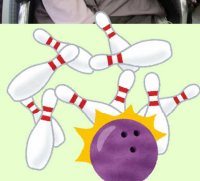


普段の活動ではカラオケを楽しんだり、ボールや輪投げなどを使ったゲームをしたりします。



聖愛園
写真館

↓この日は行事メニューが提供され、皆さん嬉しそうに食事をされてみえました☆





聖愛園インタビューコーナー

利用者さんへのインタビューを企画し、第一回目は『聖愛園の芸術家』の女性利用者さんにスポットを当てました。

彼女は、絵を描くことが大好きで、松阪市展や、障害者芸術文化祭等で数多くの受賞経験があります。

Q、絵を描くきっかけを教えてください。

A、 中学時代に少女漫画の表紙を描いていて、当時を思い出して描いてみたら、思った以上に上手に描けた。出展したら賞をもらえて嬉しかった。お母さんからも『上手やな。えらいな。』と言ってもらったのが嬉しかった。

Q、今、手がけている作品を教えてください。

A、 『火の鳥』です。本を参考にしたり、今まで描いてきたものをアレンジして、自分のオリジナル作品を描いています。

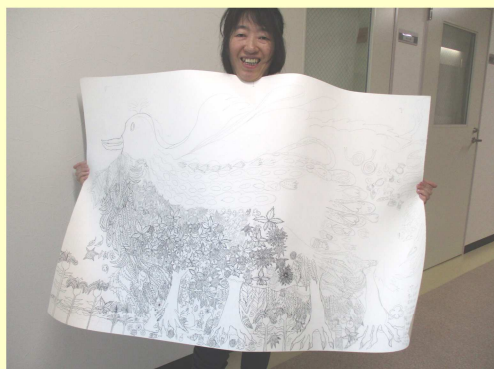
また、彼女は好きな歌手の歌に合わせて、自分なりに振付けをし、夏祭りやクリスマス会などの施設行事でダンスを披露して下さっています。

Q、ダンスをしようと思ったきっかけは？

A、 元々、歌が好き。みんなより目立ちたい気持ちもあるし、職員や他の利用者から『上手やなあ』って言うってもらえるのが嬉しくて自分の部屋で練習している。

コロナ禍で色々な制限を余儀なくされている昨今、自分で考え、実行し、それを自信に繋げていくことができていた彼女に、心からのエールと拍手を送りたいと思います。今回、インタビューに答えて頂いた『聖愛園の芸術家』さん、ありがとうございます。そして今後の益々のご活躍を楽しみにしています。

サービス管理責任者 羽根 めぐみ



↑制作中の作品はすでに細かい描き込みでびっしり！どんな作品に仕上がるのか楽しみです♪

鮮やかで個性的な配色で描くのが得意な利用者さん☆



栄養便り

～炊き出し訓練～

南海トラフ巨大地震等の災害が発生し、大規模で電気やガス等のライフラインが寸断された際、復旧されるまで支援物資や、ボランティアの方が応援に来てくれる可能性は低いと想定しています。我々、施設職員が利用者の命を繋ぎ留めなければいけません。当施設では、緊急時に対応できるよう薪から火を起こし炊き出し訓練を実施しています。

また、給食委託会社内でも独自の事業継続計画がある為、連携を図り乗り越えていきたいと思っています。

災害時には、食中毒が発生しやすいと言われています。そうした感染症を防ぐためにも、人の手を加えず直ぐに配ることが出来るパウチの御飯やおかず、味噌汁やスープ野菜ジュース等全て一人分ずつの小分けタイプのを備蓄しています。

災害時に備え、日々の訓練が活かせるようこれからも安全に炊き出し訓練を行っていききたいと思います。

栄養士 野田 未有

創作活動

聖愛園では、様々な活動を行なっています。その中で創作活動というものがあり、職員がフォローしながら利用者さんが塗り絵や貼り絵、工作などをされています。

中でも塗り絵は人気があり、利用者さんは、活動が始まる前から色鉛筆を持って集まって来れています。皆さん時間が経つのも忘れるほど熱中して色を塗っています。折り紙や色紙を使って、季節の花や飾りも一生懸命作っています。出来上がった作品を食堂やデイルームに飾り付けると、一気に華やかになり、毎月の行事を盛り上げてくれます。

また、利用者さんの中から、毎年芸術文化祭へ出展していますので、活動以外の余暇も使って様々な作品を作っています。ああでもない、こうでもないという悩みながら、作品が出来上がるととても嬉しそうにされています。中には受賞される利用者さんもいて、緊張した面持ちで式に出席される姿は微笑ましいです。

コロナ禍で活動が制限される中、園の中では沢山の楽しいイベントをしていきたいと思っています。

生活支援員 上山 純子



喫茶

聖愛園では、昨年からの地元の洋菓子店のスイーツを提供しています。

毎月二回、行事や誕生日喫茶の時に特別に作っていただき、ひな祭りやハロウィン、クリスマスなどの行事には、今の言葉で言う『映える』お菓子を作っていたいただいています。

利用者さんも職員も、思わず「わあ、おいしそう」と声が出てしまうほどです。

食形態の違う皆さんですが、全員が同じものを食べられるように工夫して作られたものでおいしさもひとしおです。

コロナ禍で外出や面会もままならない日常が続いていますが、毎月二回喫茶は、皆さんにとってお腹も心も満たされる楽しい時間になっています。私たち支援員にとっても、たくさんの笑顔に包まれる幸せなひと時です。

生活支援員 松田 紀子



甘い物が好きな利用者さんは美味しいお菓子を毎回楽しみにされています☆





↑今年も元気に御神輿を担いで行進をしてくださった利用者さん。他の皆さんも手拍子や声援で応援されていました！



聖愛園 夏祭り



今年で二十四回目を迎える夏祭りが七月十三日に開催されました。今年度もコロナ禍の為、ご家族を招待できず、利用者さんと職員だけの開催となりました。

利用者さん全員が楽しみにされていた夏祭りは法被と鉢巻を身に付けお神輿を担いで入場で始まり、その後の利用者さんのダンス発表は直前まで熱心に練習されていたこともあり、迫力のある素敵なダンスの披露となりました。休憩時間に食べたお菓子は地元洋菓子店にお願いした夏らしい、ゼリーとムースが二層になったお菓子で皆さん美味しそうに召し上がられていました。最後にはこの日の為にみんなで練習した盆踊りを利用者さんと職員が一緒に踊り、短い時間ではあったものの、楽しい時間を過ごして頂けたのではないかと思います。

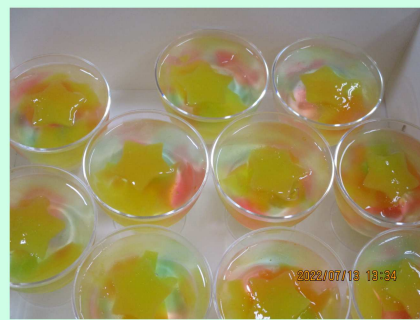


↑得意のダンスを披露してくれた利用者さん。決めポーズもバッチリ☆





聖愛園 夏祭り



星型ゼリーがかわいいデザート
に皆さん喜ばれていました☆



新型コロナウイルスとの闘いも三年目を迎え、様々なところで影響を受けてきましたが、今後も職員でアイデアを出し合いながら、楽しんでもらえるような活動や行事を考えていきたいと思います。

↓→盆踊りにも皆さん元気に参加して下さいました。浴衣で参加される利用者さんも見えました。



生活支援員 九鬼 大亮

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期になりました。また今年は、梅雨の期間が短く気温が急に上がったので、身体が暑さに慣れないまま夏に突入してしまいました。

気温が上がった日には、喉が渇かなくてもこまめに水分を摂取するようにして夏を乗り切りましょう。

医務便り

利用者さんの健康管理

7月14日（木曜日）：第4回 新型コロナワクチン接種
（とみやま医院）

9月2日（金曜日）：前期健康診断
（三重県健康管理センター）

胸部レントゲン・採血・医師診察

8月・9月健康相談日：女性利用者乳房検診
（とみやま医院）

職員の健康管理

6月：前期健康診断

4月～11月：人間ドック

7月14日：第4回新型コロナワクチン接種
（60歳以上、基礎疾患を有する方でワクチン接種を希望する職員）

夏に多い感染症

・手足口病

手の平、足の裏、口の中に水疱が出来、発熱する事もあります。

・流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染になるので、タオルの共有はやめましょう。

・プール熱

プールで感染する事もあり、高熱が3日から5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。

・ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水疱、口内炎が特徴です。症状が軽い場合は、1日から4日で解熱します。



六月一日から、看護師として採用となりました。飯南町出身で、高校卒業後は都内の看護学校で学び、結婚後は横浜で暮らしていました。

三人の息子も成長し空き家となった実家へ戻ったのを機に、聖愛園にご縁を頂きました。

五十歳を過ぎてからは、自然療法の教室の講師や、メンタルケアの指導もしています。

利用者さんや職員の皆さんの心と身体のケアを大切にしていきたいです。

趣味は花を育てる事と料理です。どうぞよろしくお願いします。

新職員 挨拶

金原 早苗

ご厚情深く御礼
申し上げます

自令和四年一月十八日
至令和四年七月二十五日

ご芳志ご芳名（敬称省略）

森岡道子

（他にも匿名で頂戴しております）

物品寄付ご芳名（敬称省略）

深谷和彦・武田スミヨ

岩城央生・南条訓・浅野弘

山岡隆・門前文代

西組・こいしらの里

丹生大師・上設クオリティ

（他にも匿名で品物を頂戴しております）

機関紙ひだまり第五十六号を発行させていただきました。ご一読いただければ幸いです。宜しければ聖愛園とサニープレイスのブログもご覧下さい。

<http://seiaien.exblog.jp/>
<http://seiwafukushikai.com/blog/>

編集 聖愛園

田所 有須